

教育相談  
072-941-3365

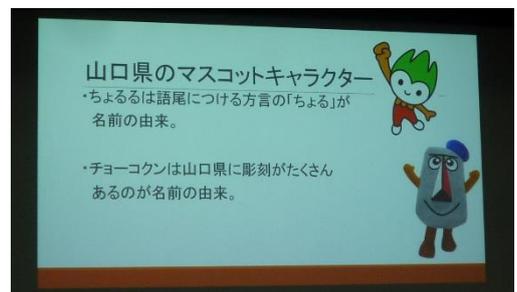
情報推進  
072-943-5785

研究・研修  
072-943-5784

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>  
（「教育委員会」のページよりご覧ください）

## さわやかルーム「プレゼンテーション発表会」

12月18日（金）に、「My Birth History」と題して、自分自身の成育歴や好きなことなどの紹介をするプレゼンテーション発表会をしました。準備を始めた当初は、発表のイメージがわからず、戸惑っている様子の生徒もいましたが、さわやか担当教員が作った見本のスライドを見たりアドバイスをもらったりするうちに、アイデアがどんどん膨らみ、スライドにイラストや写真を入れたりアニメーションを加えたり、楽しんで取り組む様子が見られるようになりました。発表には、パワーポイントのほかにプログラミングソフト「スクラッチ」を使う生徒もおり、以前さわやかルームで行ったプログラミング学習の内容を応用しながら作成しました。さわやかルームでは毎日ふりかえりを行っていますが、発表会が近づくにつれ、「プレゼンの準備が進んだ。」「（本番が）楽しみ。」など、発表会に向けて前向きに頑張っている様子が見られました。リハーサルをした後には、気になったところに手を加えたり、伝え忘れがないように発表のメモを作ったりする様子が見られました。



発表会当日は、大研修室Ⅰで保護者や所員が見守る中、自作のスライドを使いながら堂々と発表することができました。自分の生まれ故郷を紹介する生徒や自分の趣味や作品を紹介する生徒、家族や親せきの構成を家系図を使って紹介する生徒、クイズ形式で自分の紹介をする生徒など、一人ひとり個性豊かなプレゼンに仕上がっていました。発表後には、参観者からの評価と感想が書かれた紙を受け取り、じっくりと読んでいました。翌日、保護者からほめてもらったと嬉しそうに教えてくれた生徒もいました。

さわやかルームに登室する生徒の中には、人前で話すことが苦手な生徒もいますが、発表に向けてしっかりと準備をして、本番もやり切ったということが本人にとって大きな自信になったことと思います。発表が終わり拍手を受けているときの、恥ずかしそうにしながらも満足そうな表情がとても印象的でした。今後も、一人ひとりのペースを大切にしながら社会的自立に向けた取り組みを進めてまいります。



<生徒たちの感想より>

- ・プログラミング難しい。でもやっぱり楽しい。
- ・発表が無事終わった。
- ・満足のいく発表ができてよかったです。
- ・プレゼンテーションがんばりました。

## 小中一貫教育の取組み

八尾市では、「八尾市小中一貫教育基本方針～未来を切り拓くチャレンジする『八尾っ子』の育成をめざして～」に基づき、これまでの小中連携、小中連携の成果をもとに、9年間の連続した学びを実現させるため、小中一貫教育の取組みを実施しています。令和2年度は各中学校区での取組みの「充実期」として様々な取組みを進めています。

各中学校区では、設定した「めざす子ども像」の実現のため小中一貫教育担当者を中心に、教職員が話し合い、中学校区で特色ある取組みを進めています。例えば、小学校と中学校の教職員が共に考え、小学校と中学校で共通した規則正しい生活習慣を身につけるために「生活スタンダード」を作成したり、学校での学習はもちろん家庭での学習習慣の確立を図る「学習スタンダード」を作成したりするなど、中学校区としての制度づくりに取組んだり、小学校と中学校で教科指導の共有や相互授業参観を行うなど、小学校と中学校の9年間を見通し系統立てた学習指導の実施を進めていたり、外部講師を招いての校区合同研修を実施したりしています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、中学校区での交流に制限もありましたが、テレビ会議システムを活用した会議や校区研修の実施や、中学校の部活動の様子をビデオ撮影して小学生に紹介するなど、中学校区で趣向をこらした交流が行われています。

今後も、各校区の小中一貫教育を段階的に進めていきます。今後も取組み実践の見直しを図りながら発展・充実させ、子どもたちの9年間を見通した一貫した指導の更なる充実に繋げていきます。



## 小中一貫教育担当者研修

日時	令和3年1月8日（金）15：00～17：00
会場	八尾市教育センター 大研修室1
講師	関西大学 教授 小柳 和喜雄 さん

小中一貫教育を進めていくにあたり、各校の小中一貫教育担当者による合同研修を実施しました。

研修内容として、中学校区に分かれて自分たちの中学校区の取組みを整理し、中学校区として取組みが進んでいることの確認や今後、取り組んでいく内容の整理を行いました。

また、桂中学校区からは、取組みの内容や小中一貫教育を推進するための組織づくりなど、小中一貫教育の拠点校としての発表や、全中学校区による取組みの成果や課題を他の中学校区に向けて発表しました。他の中学校区の取組み内容を知ることによって今後、自分たちの中学校区で進められる取組みを確認できる機会となりました。

また、関西大学の小柳教授を招聘し、各中学校区で新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら進められていた取組み内容の評価や、ICTの活用などこれまで補助的であったものの活用の大切さや、来年度への取組みについて各担当者に助言をいただきました。

